

# 新建あいち

## 2021.3月号

新建愛知支部事務局：株式会社 宮工務店 気付

〒486-0904 春日井市宮町 1-11-25

URL [http://www.geocities.jp/shinken\\_aichi/](http://www.geocities.jp/shinken_aichi/)

TEL 0568-34-7775 FAX 0568-34-7797

### 新建築家技術者集団 愛知支部 企画 改正省エネ法・リモート勉強会 ～最近の建築関係法令の動きとともに～



日 時：2021年3月2日（火） 18:30～20:30

※参加締切り 2/28（定員になり次第締め切らせていただきます）

- 改正省エネルギー法では、2021年4月から、  
「戸建住宅等における建築士から建築主への説明義務制度の創設」等の措置が盛り込まれています。
- 2018年頃からの建築関係法令などの動きは、  
省エネルギー・既存建築物の利活用・中規模木造建築物・マンション大規模修繕などが重要項目です。
- 建築業界の問題が社会的にとりあげられ、  
基礎ぐい工事の工事監理ガイドライン・賃貸共同住宅の工事監理ガイドライン等が作成されています。
- 最近の法令の動きの流れから、改正省エネ法の設計者の実務的な概要（戸建住宅）をお話しする予定です。  
改正省エネ法に伴い、最初に少し解説はしますが、みなさまとの情報交換・交流の場と考えています。  
短い時間ですが、みなさまのいろんな質問・疑問・知っていること等もお聞きできればと思います。  
省エネ住宅って、どんなことしているのかな、と興味ある方（住宅設計・施工の業種以外の方）や、  
なんかちょっと聞きたいことあるな、という方なども気軽にご参加ください！

#### ■内容（ZOOMによるリモートにて開催）

- 18:30～ ・参加者紹介
- 18:45～19:25 ・最近の建築関係法令の動き・改正省エネ法の実務（黒野）
- 19:30～20:30 ・質問・情報交換・交流会

#### ■参加申し込み（参加費：無料）

電話 090-4270-5197 メール [kuronoakihiro@yahoo.co.jp](mailto:kuronoakihiro@yahoo.co.jp) 担当：黒野

※リモート企画のため参加希望者は全員、参加申し込みメールをください。

参加申し込み時メールアドレスへ、開催日前に、ZOOMへの参加用メールをお送りさせていただきます。

#### ■定員：15名程度

#### ■資料：参加者へ事前配布（メール）予定です。各自資料印刷いただきそれを見ながらの勉強会となります。

（資料は建築士定期講習や国土交通省発行省エネ資料、建築士会会報からの抜粋の予定）

## 「住生活基本計画改訂と生活資本」～居住福祉と生活資本の構築(128)

岡本 祥浩

2016年に策定された「住生活基本計画」の見直しが進められている。2月9日まで改定案へのパブリックコメントが募集されていた。住生活基本計画は、今後の住生活の基盤の目標を示すことで大事な計画だ。惹いては生活資本の基盤も左右する。

「住生活基本計画(案)」は、「現状と課題」「3つの視点」「8つの目標」で構成されている。現状認識として「住宅ストックと空家」、「多様な住まい」、「新技術」、「災害」が取り上げられ、「社会環境の変化」「居住者とコミュニティ」「住宅ストックと産業」の3つの視点で分析し、8つの目標が掲げられている。

当案を眺めて基本的な観点の欠落を感じたので指摘し、改善を期待したい。

第一に「住宅」を中心にとらえ、居住やその主体となる「人」への観点が欠落している。この観点は25年以上前の国際人権規約社会権規約の政府報告書に対しても委員会で指摘されていた。当時は国内でホームレスが顕在化し、増加していた時期にも関わらず、対策はおろかそれらへの認識も示されなかった。当案においても住宅に住めていない人々へのまなざしはない。「住宅」の目的をしつかり認識すべきだ。

第二に、そのことは居住維持の負担の大きさの認識の欠落につながっている。収入の少ない若い人々の住宅問題に関心を寄せていることは評価されるが、その達成方法として「住宅取得」としていることに違和感を覚えた。住宅の取得は賃借以上に負担が大きいであろうし、非正規就労の多い若年層ほど居住費負担の問題は深刻だ。

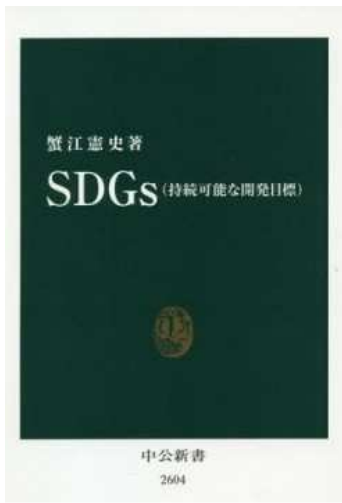
第三に、住宅ストックの水準に対する適正な観点が欠落している。住宅ストックは13%以上も世帯数を上回っているが、真に居住にふさわしいものはごくわずかである。半世紀前に建設された住宅ストックの状態を考えれば明らかだ。30～40㎡台の規模、5階建て、エレベーター無し、お風呂無しという住宅がストックとなっていることを念頭に置かなければならない。市場に住宅供給を依存してきたがために供給された住宅は、5年、10年経過すると規模や設備水準が生活に対応できずに生活の基盤としての役割を失い、空き家となる。住宅ストックとして適正な水準であるなら流通の仕組みを検討しなければならないが、現在の住宅ストックはその水準にないことを認識しなければならない。

第四に、住宅と福祉の関係を正しく認識できていない。一人ひとりにふさわしい居住が福祉(幸せ)につながる。日常生活動作に困難を生じない、住宅規模や居住設備が必須条件だ。さらに生活を支える社会資源が必要である。そうした条件そのものが居住の基盤になる。それでもなお居住を実現できないときに、居住支援が必要になる。不十分な住宅や居住地環境を補完するために「住宅と福祉の連携」が必要なのではない。居住福祉の正しい認識がなければ不十分な住宅のしりぬぐいに終始することになってしまう。

都道府県計画や市町村計画の策定までに欠落している観点の補完を期待したい。

(中京大学教授、日本居住福祉学会会長、新建会員)

**SDGs** 持続可能な開発目標 著：蟹江憲史 (中公新書 2020.08) ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆



- 【SDGs (エスディージーズ)・・・】目標 2015 年～  
17 目標の 1 番目は「貧困をなくそう」で、提案した国は発展途上国 3 国です。国連加盟 193 国が賛同、目標期限 2030 年、17 個の入口から多様性・創造性重視しながら、それぞれの目標へとつながっていきます。
- 【目次・・・】SDGs とはなにか、経済・社会・環境の統合全貌 (17 目標・169 ターゲット解説)、企業・自治体・皆の目標 SDGs のこれから・ポストコロナ
- 【2つの理念・・・】我々の世界を変革する・だれ一人取り残されない理念と目標をつなぐ原則 5P (人間・地球・繁栄・平和・パートナーシップ)  
目標 1～6：人、目標 7～11：社会経済、目標 12～15：環境  
目標 16～17：目標達成の手段



- 【3つの特徴・・・】仕組み・測る・総合性 + 【コミュニケーション戦略】17色のカラフルなアイコン  
仕組み・・・共通ルールのない自由な仕組み、目標ベースの方法、目標達成できなくともペナルティはない  
指標で測る・・・グローバル指標や地域独自・民間ベースの指標で測る

「SDGs インデックスとダッシュボード」86 指標で 2019 年、日本 15 位 (アジアでは 1 位)

日経 SDGs 経営大賞、自治体の行動、x SDGs ラボの開発報告書「SDGs 白書」がある。

総合性・・・17 個の入口からはいれてそれぞれへつながっていく。文化、芸術は言及されていない (未来へ)

- 【歴史・・・】1945 第二次世界大戦からの荒廃、1960 年代復興、環境に対してのゆがみ、日本で四大公害…  
1972 国連人間環境会議、ローマクラブが「成長の限界」を発表、東西冷戦  
1992 国連会議 (地球サミット、ブラジル・リオ)・行動計画「アジェンダ 21」 (理念)  
2000 ミレニアム開発目標・MDGs (目標・ターゲット・60 指標、2015 年が達成期限)・2001 同時多発テロ  
2002 世界首脳会議「プロジェクト・リスト」 (理念→行動創出へ)、3つの柱・・・経済・社会・環境  
2009 プラネタリー・バウンダリー (地球環境の境界)、ビッグ 3・・・気候変動、オゾン層破壊、海洋酸性化  
2009 気候変動枠組条約第 15 回締約国会議 (COP15) では法的拘束力をもつ排出削減目標が達成できず。  
※目標ベースのやりかたへ大きな転換点となった  
2012 リオ+20・・・グリーン経済、持続可能な開発のための制度枠組み  
2011 リオ+20 準備会議でポスト MDGs (2000-2015) として SDGs 提案  
※提案したのは南米コロンビア、ペルー、グアテマラの 3 国  
2013 SDGs 策定プロセス=オープンな作業部会、30 人専門家を複数国で。  
※日本は 3 国 1 人 (イラン・日本・ネパール)、情報・意見交換 1 年  
※意見収集「マイ・ワールド」で約 1000 万人の声を 194 か国から収集  
2015 SDGs ※国連総会で国連加盟 193 か国 (世界 196 か国) 全てが賛同。  
※期限 2030 年まで、大目標を設定することで変革へむかう。



- 【その他・・・】・著者の自宅で試した SDGs ハウスのこと  
・SDGs 未来都市 (計 93 市) 名古屋市・豊橋市・岡崎市・豊田市、志摩市  
・自治体 SDGs モデル事業選定都市 (各年度・選定都市 10 都市) は、愛知県なし、三重県いなべ市 (グリーン・ツーリズム事業) が選定されています。  
著者は (10 年後の) 未来の世界のかたち、といます。(案内：黒野)

## ■ 新建愛知支部 2021年1月 支部幹事会だより

1月19日(火) 19:00~22:00 (シャルダン7階)

参加者/入谷、奥野、河合、黒野、中森、福田、壬生、甫立

- (1) 全国研究集会は、オンライン(ZOOM)で開催中です。申し込みは、新建のホームページより。
- (2) 「木の空間づくりPJ」の第2回メンバー交流会を、1月30日午後に予定をしています。
- (3) 「省エネ法の勉強会」を3月2日(火)夜にZOOMで行う予定をしています。
- (4) 「まちづくり座談会」をコロナによる緊急事態宣言が出ましたので、5月に延期をしました。
- (5) 新建に協力してくれる施工者、職人、各種の営業さん等に声を掛けて、リスト化します。
- (6) 「防災マニュアル」連絡網を利用して、支部企画、拡大と更に積極的に声掛けをします。
- (7) 「建まち誌」への50周年祝賀広告を募集します。支部でまとめて、本部への連絡とします。

次回の幹事会は、2月16日(火)午後7時(ニュース発送準備午後6時半)と決めました。

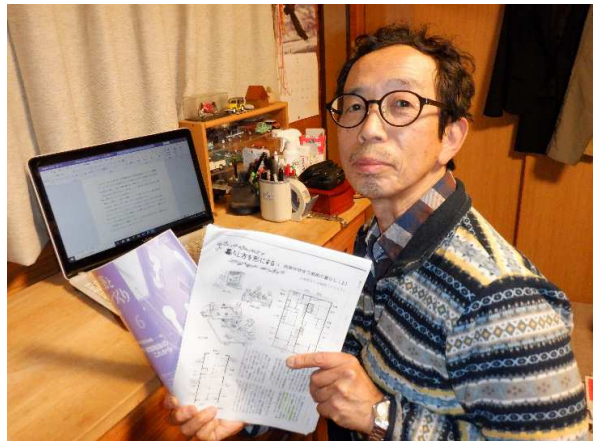
次々回の幹事会は、3月16日(火)午後7時と決めました。

---

## ■ 研究集会第3分科会『住まいづくり』にリモート参加しました！

昨年の11月から今年4月22日まで『新建第32回全国研究集会』がリモートで開催されています。これは「新建内外の方々の建築とまちづくりに関する実践と研究の成果を持ち寄り、交流と研鑽を積むために開かれる」ものです。

1月26日の山本厚生氏による『住まいづくりで追及する住民主体の方法と課題』と題する分科会に私もリモートで参加しました。



発表には資料として昨年一年間にわたって『建築とまちづくり』誌に連載された山本氏の「暮らしを形にする」を使って話が進められました。

住民主体の住まいづくりについて「設計者はそこに住む人自身の要求実現に尽力すべし」として①住まいづくりとは何か？ ②住まいづくりでの住民主体とは何か？ に対して氏の流儀「3つの姿勢と4つの努力(詳しくは建まち'20年7・8月号参照)を示されました。

また関連する8つの課題に対して「今、住まいの設計者が自覚して提起(案ではなく)すべきこと」を投げかけました。(報告:河合 定泉)

---

## ■ 愛知支部事務局・財政からのお願い

新建会費の『2021年前期分』までの請求書をお送りしています。

愛知支部では、会費は半期前納制を取っていますので、ご入金をよろしくお願いします。

(※ 振込手数料は、各自のご負担でお願いします。)

2021年前期分の請求書を個別にメール送信しています。一部の方には支部ニュースに同封して郵送しています。ご協力を宜しくお願い致します。(財政担当:奥野)